

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課 柳 俊徳	電話番号	0852-22-5257
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	公害健康被害対策推進事業		
目的	(1) 対象	公害健康被害認定患者	
	(2) 意図	健康被害にかかる損害を補填するための補償ならびに被害者の福祉に必要な事業を行う	
事業概要	笹ヶ谷の公害健康被害者（ヒ素中毒患者）に対する健康管理、維持を図るため、公害認定患者に対し、健康被害に対する補償及び健康診断を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 管理検診受診率	目標値		3.0	2.0	2.0	2.0	%
		取組目標値						
	式・定義 検診受診者数/検診対象者×100	実績値	3.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,953	4,474
うち一般財源 (千円)	422	782

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

公害認定者3名に対して、法に基づき、健康被害に対する補償及び健康診断を行った。対象が高齢であることから、利便性を考慮し、地元で実施することにより、春期に行う健診の受診率は100%となっている。  
 （平成28年6月に認定者1名が死亡され、認定者数が2名となった。）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

受診案内の際や検診当日には地元自治体等の協力により、受診対象者全員の検診を行うことができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
現在、地元自治体等の協力により、対象患者全員が健康診断を受診できているが、患者の高齢化により、今後も、地元との協力体制が不可欠である。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
公害認定患者の高齢化
- ③原因を解消するための「課題」  
引き続き、地元自治体等との連携・協力体制を維持していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、地元自治体等との連携・協力を維持し、公害健康被害補償法に基づき、適正な健康診断を行う。

9. 追加評価（任意記載）